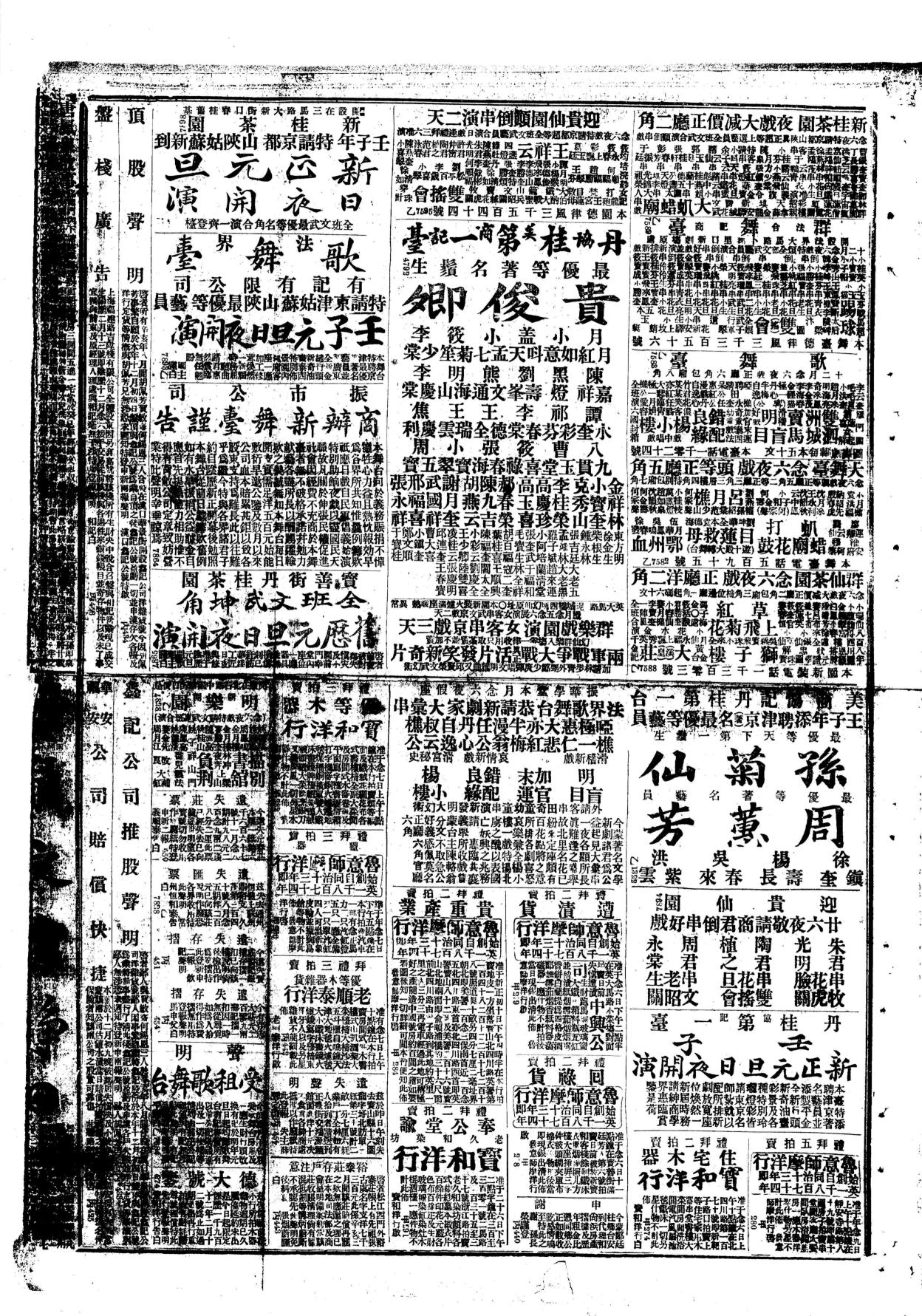


			(REC		3)			(報	聞	親	j) :	1972. kg.	dred.	(跟_		第)				
思聞言速與解決南北混一九州攸同然。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	計 無。患	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	勢不可更改也强與支柱以延雙方調洽。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	自魏幹材以爲建宅北方必被淘汰由保昌又不應以金陵爲宅矣或言南中少吏		• 不	度利兩顧瞻全勢愼以言之而不可以意。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。		也今比方者義者或思攻宅天津其實殖。(世界的財靈之時而復應此巨怒其害五	精研所費鉅萬若迫令遷徙必以重資備。。。。。。。。。。。。。。	神州輻裂其害四也交民港諸使館物力。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。		• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	舊君以倡亂者非止一宗社黨也政府在	害三也凊斋尚歲項和園不逞之徒思擁。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。 。。。。。。。。。	北方失所觀望日露已侵及東三	新政府者當爲袁氏若	雪是将更比民七爲蒙古其害二也遜位。 。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。 。。。。。。。	所輻輳足令蒸蒸不	長城以外其害一也北方文化已衰幸有。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	1-14目とに生意を変化力と不能及。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。
で 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	協•	張錫鑾推張作 深為首領	建	局無可 挽救現	章 医子列 医	核 章系	三千人鎭子京 丰扁龙宫	十五日孫	主持並未參預	改建共和	票放行	同起至長安街 密布兵隊	石大人		●袁世凱陸續 調兵入京	布	旨僅有退	(十二月廿五日觀)	電		未敢望也國維四固安如泰山出生民於
関病消費氏を生産の単純では大大生の経済が開発を発する。	原・厚・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原・原	程預備一切頃奉武昌黎副程 院南旅遞同郷會際	· 勝盼離之至	元人者白去の元人	恋恵少數人力倡反 いい では できません いい でき でき いっぱい は は でい いっぱい は でい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	軍大隊長業經	充大隊長而摩	都督及各報館・総統黄陸軍總長		と繁辨以余光を上春言被刺一名	機關部轉輸省・	如果屬實即令	◎ 談前往信陽	は原該處氏團・整備の		机請彙集陸横寄來以便	心計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	軍中日記段闘詐殺	単之戰况及敵情各級会が來軍事改良之考證所	應急収戦事材料速	全台市区
出為調存蓄華政政系各種於	等			空事権留首論へは後期暗	関前将軍志錦在辿月餘の大河野聯合	下 整 德司志等 K 链 B Y M B T T T T T T T T T T T T T T T T T T	都·都都	二 路進兵已先遣一旅圖規	本軍政府現場大軍兩翼が四軍政府急電稱袁賊梁停	南京孫總統各省都	人極蒙優待感謝黔軍政府	回點接替李公始能回滇致・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に会践を発見可に召し、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		電腦軍都督變甘軍下職員行禁止以維大局祺瑞	上靈忠非執事爲國利民福之	建日攻撃淮逼徐州以比破襲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	八夜三點鐘南軍圍羅山縣城	以以時解央乃賀导言易來電・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	題の地方之の 日本の 日本の	B 上国主员类打造专上。 1
務部聲言氏國已 允照点世凱所擬後次		フロリアの大陸正理指 一切題金と		俄	己籌費惟未便宣布至軍城一節尚不敷、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	以威力大反人道油	和袁以漢而反動蒙を實難盡述廣以蒙	全五人來伊暗殺予	溜●州	世界で運転が	. nr	大定督電動を動物を	即達三協乗り	河	の進兵旋見舉動文	が終毫無優快きな正確猛戦一を	谷蒙哈纏回亦與較	政府組織省城居民自經同志等二年來一会總長舉馮為外交總長餘均照內地軍	. 。 庚
				(1) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	央不能承認文 雅思 好 な 勝不智 と 特 孫 委曲 好 ボ 和 一 吉 2 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	▲素大總統	關於	旁 較等			と 同 ネ	著名山浦受なせ	杰	蟒率兵二千由長沙出發至瀏	軍在大別山上添設野戰砲	往信場其主力軍已遠駐郭州・武昌民・北伐第二軍占領武勝納後官清軍退	林報宿邀電)	▼極いでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	須解去軍裝(字	所有蒙古及中國枝隊入海利亞時一津府共已預備等借外債(俄國官長議定)	*・・・・・・・・・・ 都城一事紀不危險故北

中 **飞风**风元年一 之清帝語即為民國之障礙平断以待外之清帝語即為民國之障礙平断以待外。 一日已經辞位之清帝語即為民國之障礙平断以待外。 與和國雖於禁衛軍之經濟之內。 與和國雖於禁衛軍之經濟之內。 與和國雖於禁衛軍之經濟之內。 一日已經辞位之清帝此與與盧君位之清帝此與與盧君位之清帝。 一日已經辞位之清帝此與與盧君位之清帝。 一日已經辞位之清帝。 與和國雖於禁衛軍之經濟軍之經濟。 一日已經辞位之清帝。 一日之經濟之之。 一日之經濟之之。 一日之經濟之之。 一日之經濟之之。 一日之經濟之之。 一日之經濟之之。 一日之。 一日 万十三日 在 (南京)武昌黎副總統鑒廣電悉禁烟事件領侯得某國承認後始能協商至轉賣件領侯得某國承認後始能協商至轉賣件領侯得某國承認後始能協商至轉賣人難收淨絕之效理勢然也故即將來官賣之法亦恐無以取信內外而必其辦到此之法亦恐無以取信內外而必其辦到此 (武昌) 孫大總統鑒鴉片之害中華受害 最深鄂中現行禁種禁吸惟禁連尙難獨 任洋藥不斷其來源種吸必難於禁絕查 陰歷上年夏季與英國訂約除加稅外各 陰歷上年夏季與英國訂約除加稅外各 必難著效敝處擬請中央政府先與英國 必難著效敝處擬請中央政府先與英國 必難著效敝處擬請中央政府先與英國 易就理而種吸禁令尤易見功惟現在能 易就理而種吸禁令尤易見功惟現在能 副 月 大日 總 有全記在 統 電商 樂靈濁淋堂德懷謝悠 市朝陽萬年樓四恒之紅麗欲破苦不勝言之后,未是淋漓之症已二 杏海賞攝服未效賽門天煉海此 林鄉試驗後看立等及不而称丹 軒球之矣始服見Ê衰足成腎里 啓纳每世信過且服精後第十月 北南有此不精丹冷天治貴人 首一嗣丹知神數如失男之参 16度元獻第其百万永調子品鹿 第上請一妙倍功陽命先製茸 白 東京東リー(11年) 本 四恒和油和店園壁でである。 東京東京都大学のでは、 東京東京都大学のでは、 東京東京和市園のでは、 東京市のでは、 東京のでは、 白 告 可完九二至至下持求之現今可完九二至至下持求之現今 可完九二至至下持求之現今 也內號百實二午票售實時欲 面本五昌點一每者輕不收 住職十路鐵點日請票用買 1 痛止血止 領皮器女西失遺 油裥樹玉眞 寺遜批號沙送人一馬點念本 路路點觀遜至君條路半一年 551 静下十子城實有皮失夜二 安沙元十外收仁領落八月 軒塔二瓶假愈時濕咬傷無有此 敗北角一貫百疫骨傷跌論當油 首字元購發等稱血打滾面統 乙廣上中者百產無擁領水速治 下東海牛留中一名不傷燙效外 合否拠元意近探匯止數傷之症 林球小大多立事風無火功異 1 月年終結帳是習慣上之無前月補配新年是政治上之 殷 作 失 遺 窒 獨中麗人遭十千一道掛傷今 另元新 拾失號二紙製號利有 各培爾特得紛令予第收代洋英 82台報登作有已四七條轉行商 透來倫発加小內戶他周茲 聚學與有有蓋號將之就兩者 都勿小他訛寫對憑默惟臣敝 57月日號手日配核摺望各刻執 白農無徃後以另送年存有事 告廣棧記和安鴻 租 召 房 洋 啓 職一歸宜宅寫出洋十茲 傷可號至如等字(#)房二有 86~和也本泗合最間利一號 ** 拌此行邁意爲及如宅三遷 行佈面路著合住作進層路 蘇 瘡凍愈立 烟公隆協范 張開日九念月臘歷舊擇 对交已回腾包%每州督原由設 41月先件原换包洋公製弄新資 行現班函退五烟廣內銷養 廢作摺存失遺

単 棧 失 遺 切各明向五千計棧有今 100 作該百担花單願遺 110 田收實廳廠担付餅一花失 日別號室說已過一紙餅大

1推然與審記所有



					e Communication of the Communi				e e	a)	**************************************			e e	积	聞	***	B r				reys:					3)	* 700) =				
	▼ 學生 軍出發記 解 一型	1	大統律皮敵崔家屯各阿並勝福則尚長	曹修惠大牛而人冬以後明已停工將來	火車 來往均由鄂橋行駛其正稜鐵橋雖	不要手模。在卡倫驛馬河小河沿等河 河水形屬省家市等地上海力質大桶工	古長路線經由各何推朱倫羅馬町小町	戦闘於年底定能寶票搭載行族云	向長春販運大豆者已 開 空馬數山站表	高数山東站建築路房七間行游域工現	赴長者即能在設站騰襲現該公司又在	一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	本ま見者に対対し、日子子司	一之故王等草客率皆殞命滿地尸骸血痕	招領當時係三等車首先傾下一二等機	傷者抬至山海關醫院調治其死者現已	六七十人情形極慘當即調來醫生將受	多一二等次之計死者三四十人受傷者	橋樑即斷車遂傾下計三等客死傷者最	原有鐵橋一座車行其上突有炸彈發現	甫出關十餘里之金線屯地方遇險該處	陰歷十六日晨由山海飙朔往奉天漫車	▲京奉火車遇險詳情	第一議院制之義	水行熟知透務故命何赴任意在以西北	婚一隊帶赴張家口蓋袁世凱以何久原	帝馬歩砲工輜各營計六千人並有機関	何宗蓮此次署理察哈爾都統赴任時曾	都統之原因	▲何宗建簡枚察哈爾	新聞	●中華民國元年二月十三日
	切障碍當如何或作規經轉斷工業事安	少表决速行至維持附近商民以及	議• 1	きが、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	桥二萬三千三百餘家擬 聯 票都督商酌	讓謂拆城一事凡附近城基舖戶約	稱便惟即・	省拆城改建馬路唯一股份	. I sand		では、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、縣迁道到郡接印距甫行至朱公廟	华鐘王君登奧率帶護兵數十名	幽議地方進行各事十一日上午十一句	和下午行抵河口初十日會同沙學各界	横信府知事王廣言於陰歴十二月初.		▲廣信府知事被戕駁	人	及審別同胞書一通亦言詞誠切娓娓動	学生習別常慶二ド等音号号音がある。	資質を見欠ら返 ここうき ここうじゅ 生軍 云	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	除王操塲操助步一句餘鐘蔣督都演説	受緊 単条合號全管官長及學生即時站	四號晚間學生軍蔣督帶第一營令號兵	可勝數作爲途中食品	香腸八十斤乾牛肉三十斤各種美酒不一作為等食の買品を買着を買着を買って	作為夏拿又層學生軍各營併吃八十六一。。。。。。。。。。。 黑都督於是日難尊生軍每隊及一百斤	輪督帝學生軍用書は背會師	教省學生軍者需要君軍派本月大號乗	● ●即辛亥年十二月二十大日
	· 我在十字章的作自思证医者具体	火整傷 兵 破 棺 薬 尸 惨 無 人 理 之 事 至 稱	見将中久耳呼吸並来在邛亭が可以を、「「「「「「「」」」を、「」」を、「「」」を、「」」では、「「」」を、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「」」では、「	(袁內閣復紅十字會電)紅十字會配	奥安為保護諸釋念論庚	哀殿重交 建宣會中西醫生在淮已货	會次仲體指生物微調逐節範疇形態的		d T	大小輪角型講覧	徐又達率数軍共百餘人乘坐民船由國	· 除	往又有鐵血軍第二標司令長更級升率	· 司· · 小輪	船各兵士皆未登岸紀律嚴爾	第一 管脚接抵燕寄佐江心並不	載第二營第四營江新載第三營新	乘招商江輪抵蕪計江孚載第一營	八十餘隻二月八號下午五旬鐘時該	隻民船百餘號以待當經封雇大小民!・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	は、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	節備小輪民船拖帶前往武昌黎副總	殿武軍二千五百	督轉電南京 海軍 電知盛子登	燕湖軍政分府吳君振蕾・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	▲無塩雄師萃集	再•3	来	. 4	職者法以那種行現在工吳已楊定接送	0
いた。一般の一体と	院内層給一時來者衆多以致擁護不庸。	可曾可各投節團英甲 收合米 黑自王重,我人想就没挥娃官民衆多特的巡查都	▲遊響典團更屬歐	使生 管理勿得稽延	東州海湾全廠事務交奥印館 局局長	高壁以昭制 一叫該總理刻日清里提目 「別場」にもある。 東京の東京の東京の東京の 東京の東京の 東京の 東京の 東京の 東	設廠向係官辦非民間營業可比今本府	東洋印刷廠總理茅乃登奉大總統令査	辦理	▲印刷廠改歸印鑄局		六凡地方郷鎮民團一概不准躊辨槍械・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		金将原件を公外仍服は運車人の第二者追走夕屋間追者一彩	艾安宁香亚亚十四群亚香一至。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	立見は ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2000年	本部核轉滬軍都督温	四凡須赴外國聯辦軍械者必先禀由本	船・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本部乃能給與護照	に温購辦軍械者	4日・ガリスの対域をは、10日の対象をは、10日の表とは、1	\$ °	職辦處接着及自行購辦各項軍械情	凡未爾有本部憑照者不得逕至駐滬		▲有京楽事部衍定時	とを電洗の聴浮言等語合巫轉達希査	在觀戰如果胃用設合旗幟被必直接交	戰時紅十字會英法教士 代格思葛式埼	
	全種原理をは多様には登録している。	收在香港灣里華東 本語傳統 東京 本語傳統 東京 方 	光復之後越獨一切案後樂歷重科長後	清整建筑水料果青匀量该吊养里身。 前設 建筑 角열南鹽爐匯之區凡各商	・理楽	揚州繼續數是五十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十		▲張總理調査鹽政卷	督能允准否という。	はる時代では、これでは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	變亂後擔任籌數聲民政事宜日夜		特將經手欵項如數捧繳都督府辭職而	某結果如斯深恐稍有不慎爲案不容	局長徐君樹侯以権稅局局長 出自不衡耶号手而以及東手事	を出当了呼吸川手可 思台奏 も高い改事経常 が保護を見事 可は表	ロ色属 20 8 14 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	中人以長四七子為新推政忍屯次。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	世代了前にする。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	権税局局長張徼鹿勾通各税卡季	▲蘇聯書写片飛來		長均於昨日槍斃並宣布罪狀俾衆溫	又等件亦交執法部説明供認冒充・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	永香一名身邊藏有都督府假印	男保拾知浦東海家要児供認不遠の後前 日今後軍人妻得別経事治	いて こうこう できない カル・コース・コース・コース・コース・コース・コース・コース・コース・コース・コース	● 以 生 第 		在場響之巡士指揮槌鉄撞西門團勇	
	を開催を発達した。 本語には、	宋及各界本等新者 解 不少日人先由僧	午後二時在全山帝開成立大會該山僧	中國佛教旅生育を書送ける。	▲ 全山側を 版進會開	説数では	神経の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	會議定辦法宜先設機關公舉調查	完善經正君詩劇是義将比案多交弋義の工力別の世界では、一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一名の一	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	秩序大亂當經在場公民研究有云柳君	柳君漐度過高竟將栗匭打破栗紙散失	前發傳單復又兩歧等云於是爭執之際	云何不預刊於傳單宣明宗旨但此意與	選無に推守排写護嗣ノ韓周至独り明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が建筑したのである。	己缺多數即當改選於二十日十時公民	云當補選十九人照原額議員三十三人	員如缺三分之一應即改選令據市議會	十日補選議員公民等以蘇都督原文議	銀江市議會前發傳軍云陰壓十二月二	▲丹徒市議會之衝突	止乱速度明容复幹の属正式会	七州子質斗を滑頂を新川以て川に一七名等分別査検理交本総局査核系	總局辦理惟毫無根據無從核辦希即將	淮運司淮南總局應辦各事宜均歸例本	外有無扣存公默以及附存款目現在兩	海南食商名共級課捐銀錢兩項看干此	之靈寶又訂運告下計数课盤消費告千山地に記算之鹽葉已開注著千木訂算	単若干又自貴科 支援 療之日起至現在	科長接收之日起完寬西訂單若干未訂	<i>j</i>

* B A BI A	观 二 禹)	##	間、河	绿三	
本 信認 購公 債 票 孫都督前派閩神 人 选 完 文 审 成 立 光 復 沒 獨人 種 方 人 选 常 公 请 要 名 單	▲ 不知。 交 涉 委員 此 为	・ 課・ 塀・ 痒・ 州・	車泉漳人民風俗剽悍地方官医派差曹並出、示獅 県二府各州縣催繳本年下忙地丁錢糧以濟 軍用 県二府各州縣催繳本年下忙地丁錢糧以濟 軍用 電流 電流 電	本	東京
→ 加州·通信 →	▲ 書中 史 墨 動 燕湖軍政分府近接 富德縣 ※ 電 零 元 今 午 書 吏 數 百 人 因 革 縣 放 殿 傷 財 政 長 ※ 電 零 元 今 午 書 吏 數 百 人 因 革 縣 放 殿 傷 財 政 長 ※ 電 零 所 軍 食	▲ 数 行 公 信 票 施湖吳丞府以經濟困婚期辦公债票以資補助量將辦法章程安為 訂定茲則辦公债票以資補助量將辦法章程安為 訂定茲則亦以於本月六號在大舞台邀集 各界開闢的完進行辦法	可行着即造册移法三標珠選精肚兵士添 補空額 其餘各兵由彭管帶金山發給兩月恩備。 建安徽 機遺散以示體鄉除踰知三標及彭管市 外仰即	其會所謂將保安會防兵改溫營隊歸傳訓 練事場 於解職一面設法解散等醫希即迅速的 以得 方目兵馳赴該縣彈壓解散黨羽為盼都督馬東叩兵馳赴該縣彈壓解散黨羽為盼都督馬東叩兵馳赴該縣彈壓解散黨羽為盼都督馬東叩兵馳赴該縣彈壓解放 第一事中昨已奉都督 批示查	○ 本
行動微惟向有商人認例之捐及其除大宗 獨物仍	八隻均保衣鄉古完學物約計一萬數子元/之個海 單叩請數追學機規學財政無關實确州軍、斯及 童史竟有無其事过日群復核辦金分府立 即風質 查史竟有無其事过日群復核辦金分府立 即風質 放飲期發責語實理學及 以飲期發責語實理學及	#本工事快報電光前風機三波島刀工作。 表物每件非船頭上大炮工費推落洞中現 由族什 長來那區級未翻臺灣領乍何辦法也 長來那區級未翻臺灣領乍何辦法也 長來那區級未翻臺灣領乍何辦法也 長來那區級未翻臺灣領乍何辦法也	阿江萊爾內羅國和經歷一次一三十人上 船科封 不	本学·传文·要 浙江政事部近日通電谷風 ● 禁·传文·要 浙江政事部近日通電谷風 「四月」 「四月」 「四月」 「四月」 「四月」 「四月」 「四月」 「四月」	京都 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)
全流追辭法代表之職該社以被治师人会通事 歷 2 教育會 選舉 職 題。	▲市民公社域、祖無效	潤。嗣。政。選。此。	署〈日赴滬縣辦該鄉洛里想從此可稽飲跡矣 著〈日赴滬縣辦該鄉洛里想從此可稽飲跡矣 著〈日赴滬縣辦該鄉洛里想從此可稽飲跡矣 「別數學學」 「常知禮孫福館被盗情形早	西・進 一	▲ 保護洋人財産、武海勢干川突敗後年 4年 大大連 10年
版二人因為伊加州市聯合黨與然關工現在,停止工作改造的建設之下人亦外與歷史資聯合 云〇 工作改造的建設之下人亦外與歷史資聯合 云〇 文章安島和新州之籍了著版飲於格拉斯哥從 郵 體中推動取出與歌道事舶原步龍工之八皆與 巡 豐島輔故被拘多人軍界已奉命令者即預備〇 十 一日倫敦電云此利士之志斯地方有龍工之碳 工	(以上大阪毎日新聞) 一門事馬運河口之弗來曼柯島設立和 一門事馬運河口之弗來曼柯島設立和 一門事馬運河口之弗來曼柯島設立和 一門事馬運河口之弗來曼柯島設立和 一型事馬運河口之弗來曼柯島設立和 一型事馬運河口之弗來曼柯島設立和 大松我)	二颗型。人在除	元令果有人在斜塘拘獲和蘇州 等帝判慮訊辦想須按律殿離也 等帝判慮訊辦想須按律殿離也	類· 神 · 遊 · 佐 · 佐 · 佐 · 佐 · · · · · · · · · ·	是 主道 经工程 朱家子 上道 经工程 大家 计文师 朱文林 現場
	事 表				● 実工成交員工家用金額 第7 表示 「

家藏經驗奇方 成稱天下 P

且於事務所備有通譯華商母庸自帶通譯購定之珠即付上海通用現銀奧 **那先生現寓法界新北門外天主堂街第六十三至六十七號門牌大羅第 櫻上有珠出售者請** 大宗珍珠將以重價購買珍珠愈好出價愈高僅收售珠者輕紀費一厘即佣金 取者與愛弗 (MR·A·OIFFER) 先生的於二年前首到中國今又從巴黎回申預備收留 親臨接治可也

閱報諸君試將以下所述緊要語細讀之

聖保羅修道院膏子藥 每日所醫之人不可勝數是以 亞埠曹君聚德所患病情錄下 以其所醫之病大都歷試他項醫藥而無效者也茲將兩洋拔推維他藥之名譽無出其右者而此藥之所以不可與他藥同日而語者



絕望矣後閱報章所登廣告有一人因擬器保羅修道院青子樂而 疲弱已極咳嗽不止兩脇發脹時覺寒冷且吐青灰色痰不止自謂 請將此情形登入各報可也 大減而痰色亦轉清現已服四瓶而病已全意胃口復原夜能安眠 效驗如神余遂試服當時所患咳嗽晝夜亦息服藥一日之後咳竟 一如康健之時友人及相識者見余服此樂而獲全愈莫不驚異即 曾君云余患胸部統膜炎四

修道院膏子藥而愈者不知凡幾蓋因此藥種能 健肺增長其抵制之力且常 能波盡勞療蟲 而於 氣喘 Chamo 師各病 九為 無上妙樂 今將此樂運售中國以公同好 諸君移請認明眞偽風樂匣口均用樂廠主人 簽字之紅紙條封固否則覺鼎也必無效驗切宜懷 人咳 傷風 塘灰等症以及胸

縣維 **痨**察本係不治之症 然病根未深 服聖保羅

PAR

之奇功

休證書云

色補丸

院醫官余

恩君承惠

之體質皆可服食故甚願將此天下馳名之

天下無上之補劑無論男女老幼雖最柔弱

補丸推薦同胞之俾可共登壽域也

醫生紅

日現充潤軍

網帶堂图

孩十歲以上與之服食亦甚爲效是丸誠爲皆以是丸治之無不得心應手立奏奇功小好風濕骨痛以及一切凡由血毒所起各疾月信不調以及產後氣體虧弱男子腦筋衰

復軍臨時

廉士大

讚揚草

兼浙江陸軍衛生學教員

軍醫官

小學堂醫官

著名陸

浙江陸軍

秘發行所上海五洲大藥房 洲大藥房抄登

凡外埠諸君購藥於所定價外須另

總發行所荷蘭國路頭登埠額克爾

價目松抵計重語評格蘭計洋混言語

中國經理處

加郵資直向下列代銷處購買可也

中では、 中では、



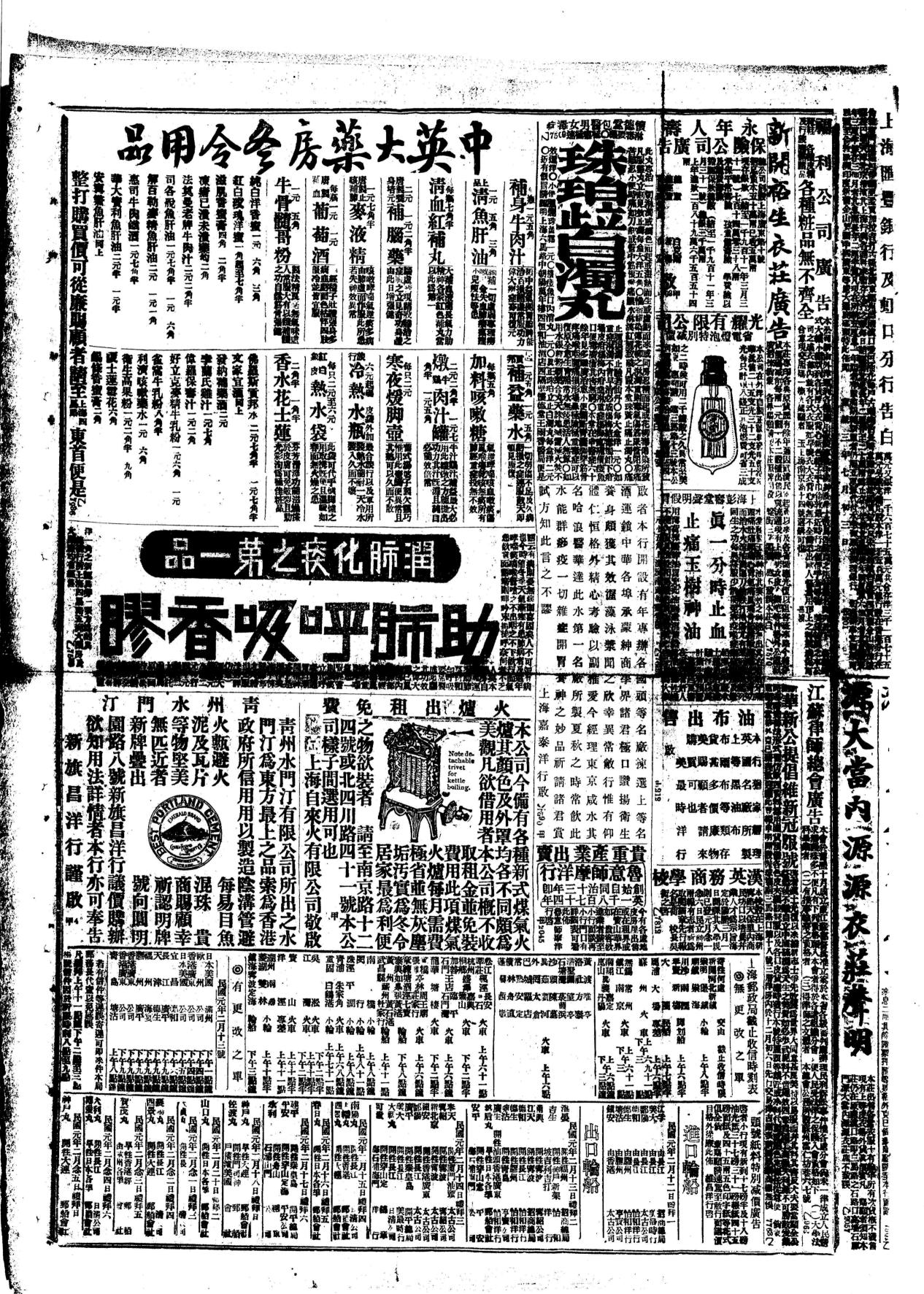
照玉君恩頸余

草廉士 大醫生紅

確為補血補腦之聖藥凡遇婦人背骨疼痛曾經化驗並無瑪啡鴉片上癮損人等雜質 補丸醫治各疾莫不屢試屢效且將是丸

ALE

PERM



比海軍事種種

現奉體軍部黃總長命令速赴鎮江暫駐 一管帶所統步兵各兵士共有一千餘人 管帶率領各兵士於二月十一日晚間九 帶前往 點時在滬南製造局馬頭搭坐致遠廣濟 候令等因茲悉陳統領遵即傳輸王周二 **東漢類**所部第二團第二第三兩營王周 ●第二團步兵赴鎮 滬軍第一混成旅 同華三商輪出發鎮江又悉該二營由製 造局領取機關砲四拿並配炮彈甚足隨

取槍械子彈並軍用一切品物業於前晚 飭裝甘泉兵艦運送金陵 槍械裝赴金陵 製造局奉陸軍部提

法科凯辦在案所遺頭隊隊官一缺經劉 晚已下札委任矣 司令長查有二隊排長鮑立華堪以接辦 由劉司令長將王隊官撤差倂送滬軍執 頭隊隊官王柘林因私刑吊打蟻媒殷姓 ●敢死隊札派隊官 **滬軍福字敢死除**

炮廠木工先行製成木樣一架以備翻沙 生已將此項快炮圖式繪成於日前諭飭 炮預備北伐之用茲經李總理節令綸圖 陸軍部電廠街造一百磅之陸路過山快 **建聞此砲開工須在陰歷明年正月內** 製造過山快炮・ 製造局李總理前奉

勝軍械即速電信解滅以便運駆應用 **表陳耀炯等所助討國軍師洋八千餘元在**萬金之譜因未**運都**且因網樂會館代 亦未解清故由王君祖潜襄奉黎副教徒 團秘書員王君祖潛前在尾上會向某年 軍己過該團全體各軍員奪頗北伐而 學各界歡迎情形已誌昨報為悉漢屬北 奉黎副總統電令由滬出發援鄂 行前職機關特炸頭及新之技術等件 加運外洋軍械 遊擊志願決死團前

武昌城東門內抱冰堂前江夏高等少學 **为就**禁以備訓練昨由王君封滬之後 後暫駐省垣中區界內茲與那須遷至

處云云 知照本學各軍隊如有公文者往請認該

業已足額已於昨日到滬號候編練入伍科業已派員在台州一帶招募軍管一隊 ●滬軍招事衛生隊 **滬軍都會**

角跌地痕跡當即據情回襲補頭奉飭上 緊嚴緝務獲解辦一面由捕頭禀報卜 盗匪十二 印捕觚往兜拿杂盗已去遠後由陳探目 **静安寺戈登路兩捕房捕頭立飭華探目** 皮衣服約值洋二萬餘元事後事主飛報 即前任杭嘉湖道宦麥素充近日楊挈眷 往由蘇州河河灘下船河灘上尚留有箱 察得該盜搶却出門後隨其足跡跟蹤而 陳雲忠帶同包探陳永康馮金奎暨荷槍 浦因事他出盗匪即將主婦僕備人等一 內許至前晚即(念四夜半)二下雖忽有 來滬卜居公共租界宜昌路第一號大厦 前清已故画讓總督楊士驥之子楊與浦 箱三只及金銀珠寶首飾玉器古董並綢 併細縛翻箱倒篋任其飽掠而逃計失皮 餘人明火執杖撞門人內適楊興

東南淮浙江都督移復將鹽課所歸浙省 東東與便究追至 數學 斯魯祖界提解 民國財政實非淺數數學那會祖界提解 指繳本府以便體湖完築而清界限量得 限何得藉口滿清舊欠以萬難再解等語 省鹽課如此之鉅煙應繳解清整劃清界 應用並追究欠繳課款業節財政會長核 希臘抵賴爲此論實該商即便速照速行 省現在清理之款何一非滿清時代之飲 **省軍需孔亟如此鉅欵豈容奸商吞沒各** 滿清之課飲萬難再解竟圖狡賴現今浙 議項奪在案茲准前因該辦商既欠解浙 七萬五千二百元歷經電僧及派員守提 沈伯馴欠繳浙省鹽釐自四月分辦至中 華民國紀元前一日起兼加舊欠共計洋 電開拔鹽政局呈稱上海租界總棧辦商 **潤軍都醫陳爲論的事案推浙江都督蔣 西籍口滿清時代欠數世** 术便切切此論

等 物電光前接拿移租界沈伯馴認繳 杭州蔣都督

> **医至**自十月份起繳 欠繳如此之鉅又復 尚有欠繳湖省課款等因當即 其美素 向較商嚴重追繳以清界限程

▲滬軍都督陳批

朱鳳昌控軍人童志常宋志元特符 拔刀行兇由批專單均悉候本都容 候核奪所請提案之處應毋庸議 悉來呈所稱既真明民政長辦理自 呈批地方紳立之優劣惟民政長知 該隊員等并未持有該司令長正式文牘 於骨肉之私情〇林銘芳林銘與等 勞古有明戒該醫生須明白大義母 札發遠〇胡一菴禀批伊子童年從 楊簡禀批該營長既奉田統領電調來申 高雲麟禀批所陳聯絡回部七利 看不准行〇龍華防守巡查司令 **率來借領川資賃偽莫辯碍離照准** 願可嘉現已編伍未便來去自由愛 暫設南京仰卽前往投見可地履歷 呈請徐滲謀代表轉報到日再行核 據聲稱前隊長徐彦現充協部參謀 實難設法等措希諒之〇方少祥專 議確有見地目前和職將定情形的 田應

品現

充

滬

軍

第

二

旅

長

其

族

司 督介紹至資助一節現值顧需廣乏 令官查明呈復再行核辦此 令

▲製造局年假 -----

七百多数停止工作 雖已改 停止工作业 然工匠人

神總領事在照並祈轉商各國領事 以昭大公而示劃一都意以為洋西 總領事文云勒取者公開華人 公共公園開獻員印品選及 小足

田飲處准盤

存委 勿 兒童施放日 定傳該兒童 放風筝以発 以後遇有電 全電線起見 曉踰仰居民 ▲查究士

▲女界書 補明●

憑做完

習之餘閒發 南市竹行弄 看樂會食三三 欲入會者須於正月初一日 月初三初四兩日下午一時 種或會員擔任或由會員介 起改良消閒會內容分講演 小學教育講習會會員以講 角以便凝備果點兒童一

經濟場文鼎爲現在公開 乏君之岳太禄起源上年 有弦疾的晚在歷文整路 **严定於今日大療云**

芳目今夏起車 夕不離迄將伴 公共租界物品 神各陳素輯站不解輸出 東然是全放為推翻过後 路清和坊一弄妓女花野 **東福州等物**乙刺骨然亦

加羅和以防 示禁止之後遇有故違不遵者一經查見 風等一概 若遇障碍即傳遞阻滯現在時交春令各 上海一隅建 出示院輸運 電話局面開 父兄識罰勿謂言之不預也 電線爲彼牽幹自經此次出 線所在之處不得於鄰近擅 不得不先事實防為此出示 田灣而利咬麵等因准此在 練路線必致有碍電話應請 人等一體傳輸各兒童知悉 筆最足以發生此弊欲爲保 現交奇令各鬼魔往往應放 桿林立空中電線密佈如絲 科路線之襲一律禁止並嚴 深地示禁止事案准上海 案詢核 都於昨日下午倒坍壓傷住戶許吳氏報 北江西路二百三十九號房屋年久失修 由排房車送醫院醫治一面飭傳房東到

寺僧盜賣公產

政院查悉情形已派員前往詳細查明以 亦將公建盜寶與珠寶店主王某得價洋 接持不料耶陰僧行為與鐵海相同竟然 該信備價隨回將鎭海逐出另換那陰信 百元正在立契成交被救火會查知勒令 僧鎮海擅賣與金線店主某甲得價洋八 本城新北門內沉香閣之公地前由住持 一千七百元由胡某等介紹成交現被市 子自然與爾無干惟其中有無別情候傳張阿河 到

楽訳奪 ▲南市裁判所案

銷等語中四官核供院據原告求開銷案准

予將錢

趴據原告宋榮林投炎供精鑽戏已經轉進 求語詳

新子山不理押數各等情昨由包探邵阿金 將張許 層莊開釋〇金錫麟整張軒冊抵單不贖聲 瑞爾整 五百元之鐵戒一隻由探查獲昨風解解經

於陳文秀開釋〇宋榮林整錢屬評行兩價

値一千 中四官

前日版柴鄉民夏玉蘭等六船裝運稻柴來。酒同泊 索教何用愈寬不服挺撞致奉禁押昨日正 方新索即被夏等扭控市政庫由警法理事 員諮問 以光復時代一切費用曾奉革除不肯照給 愈即多 概判所似此命紀自知不合求風姑寬松前 洋四元 運南新馬斯被自稱柴萊頭之命澄壽索取

東豐何受保限年內將於如數級增 收已數多種和母族可慢等外避匿已追保人料理 ○食工事養店主程現生在裁判所呈数長、暗風記 求簡先追無陳裁判與趴張供由已歇可帳 注在绘奥河由巡上帝至市政縣陳報門訊 ▲開北司法科案 如何敬敬其母臨馬氏特英刀次傷寶戲 血出如 原事時館區吞匿存件二百五十元時 出上無發院療治並將陳馬氏傳統申

四官相驗後由屍屬求准免驗自行收檢 長取明判黃胡氏發展體士養婦建在裝前 日何氏 烟自靈報知捕房將屍車送驗屍所候中

以田單一種押去排七百五種類不贈一家。無孫科

▲坍屋傷人

▲飭査失火 •••••

然起火燒穿屋頂幸即撲滅未釀回祿後 昨晨茂海路三百四十五號黃阿堂家忽 經捕房派探查明復奪

滿清廣東候補知縣譚鐵卷前因入都遭要 戴氏來

☆公共公廨早堂菜

源柏貸英租界厦門路衍慶里第二百六十 五號門 **牌房屋內居住距認之妾陳文秀向居鄂省 日前亦**

錦榮欠貨洋七十餘元曆縣不遵納追昨歷 **便查再核〇王桂芳投趣局票控俗成地货** 拐麼伊媽職孫科長標道到案賢訊不配奉

孫科長 行主黨 中通

東當馬巡投總局軍祭共政後年發與楊信

押限年內先繳主數總準保權所繳○東春 實在浦 以胡氏道際不理投業體證準例阿學交際,胡氏道

傳蕭質試供詞各執與兩邊各進公正人第 清帳目

華洋瑣欠

已逃滬圍跡松江路第一號長春客楼四十六號房

間內與王建南私職事經藏氏偵悉派家丁王升至

模內將行李車回欲將陳文秀領回一同居

住距陳

▲上海地方檢察廳批

張阿阿星旅順洋一案辯訴由批訴悉帶耶氏非 爾 物 腹求追職究辦由批查維彦甫現因他系經番 州 灣水押所惠是否屬實站侯提訊察奪 〇蔣鑑泉 爲 自赴川沙縣 兰請核示遵辦〇丁秋榮 兰翫貓彦 甫 榮生求 請交保由批 據 訴已 悉陳雅南係川沙寄 禁 無案可稽看即自向原簽官廳呈請核示可也〇 沈 政府訊明判交太屬監禁二年之 是非曲直 本庫 吳振聲爲歐子春代爲辯訴由批查歐子春係 人犯前無本願移請川沙提回核辦據呈前情者 即 奉軍

> 昨晨解送公共公堂奉承要藏會同英翰副 領事訊 三劉胡氏黃王氏等兇毆當將一干人體拘 入捕房 韶捕頭立的包徑王棒生前往品騰當被王 升價值 投老剛捕房聽指王等河去衣物歷職在行 機里等

悉前情外王等不應殿打包锲始寬各罰洋 五元充

欲移解 柴併夏 原那到無訊核在案昨世祖房養養養粉解 四據包 **趁押審陳服翔新氣圖入房內三貴殿打並 被掏去** 醫顧與主事少職獲解於盡訊判一併交保 候提陳 金獨一隻物送等情由探股玉鼎將陳之同 無潘志 西第四十二號水王配么二段院內之妓女 踩台英 傳至公室奉中四官訊判;佛過堂候訊○

其姓歷 不料理 斥而退 明伤缺 **云林曾 美國貨車 医埃黎森撒員外 建工民族使宿至十月十**六日 一般實際民間周整務被 周翻 7、小狗並未穩模與 姚係 **海水面水水或甲** 送回 **建精**就追 王氏

東追等 情奉

でも

從傳商非不通之也而怕來之精品又深歐 化是即 海外醫效於祖國者不乏專門之學術家而 相與詩 恩為前屬三工不爲之後盾商爲日戰而工 不與以 加拿於此難。 農非不生之也而蟲概之生。 我不投 我《民力永靡而不振》耶爲是發起本 會嗟我 (材料不有團體事無以厚其勢力濕觀此。次之事 於國內管自士年來備各行省亦順有源、聽是材 恒工業而適當工業的民族帝國之潮流 宜其社 **中非肾鼓吹工業主義以照救時顯**無無效也則 合革領軍力企圖物質的進步於工業之前総執 語產業革命者今也其時矣雖然欲事題 投資本 無波悉漏后於千尊之海壑而無極矣性 **以制之政事未除障害**我工業之**發電局 飯工以成さを謂何何味味證而不提倡 之也不** 素量平來國質駁宣言 一中華民國工業建設 明達者當自知之今茲共和政體成立 呉陽繁 **以可求此運會建設我新社會以**競勝 甲基而 名出中華民國工 行之要极如左 刀建設工典社會企 為更始 之要義 者憂世 事物所, 上海炎租界二馬路州球物第七 號門牌 經費: 本會事務所開支除由發起人分任 外如有 範勿使戰實而來者之相戒裹足也 **阮烈士式字** 是名書献周烈士 并那人也生而 捕屠有維持治安之實壓宜加意防 則地靈歟抑侵藏者誨盜也 期臻完善 軍與以後滿清官吏之挾資來滬者 何律道,一杆七百十二號 特別捐助者本會推爲實成員 軍繁有徒將以租界為案樂地平 然而宜昌路明明是公共租界地一 本會章程除宗旨外可於每次大會時改正 网络月刊配着外不曾住 自所 即出絕大盜案堂人傑 西开 **盗外禦潰兵時清江鼎沸而淮** 以保障**那里恢復南都沒有** 兩君賦性剛直不能奄媚取容 廷偏吏與强宗豪族則疾之 之創界周君爲長烈士副之内 公則烈士與周君功也然**忌**者已 生氣故忌之者尤烈云值真鄉 工尤善面折人過不少假借虎 記機情起発九月二十四日17 無刑亦能促進原形分 はないからないからいる 東路四級田朋之山後 争實關民國之榮枯又豈僅僅爲一 梗不及十年國其爲沼乎故今日之。。。。 明本實先撥縱中 於克復學報社復 秋不知舊邦新建首重刑賞刑賞不 人思怨地敬院人 濱慷慨之士讀其美文至有感谢泣。。。。。。 天下云云文意始悟覆如其美旨海 粉身碎骨所不敢鮮實非我開敢告 之事若不得當 下者或謂胡虜未平非吾人內訌之 顧瞻氏國猶古 要領其美憤激 其職私匿不檻 **革命本冒質因** 至上書大總統 南通豪鄉張察及與廣介有聯且利。 遂行文南通大索康令既就教矣而 陳其美者革命 換殺此獠无以 雜職及翰軒畫 八告以房令无法 、始悉殉義館 父叔軒先生出獄來海上南社同・ 一其陰險如此翩鐘軍・重處造諲烈士之死玉 門兄玉麒力持得脱厥・烈士城建時捕着丼及 主某報事亦與烈 夫已氏者嘗賣文 我旗還指當在南通 人夫深質初衷今日 孫文文令下復不得 甲扇分復四出奔走 黨人也發難攻江南。 木思昭雪其宛苕渓 過私遊南通馬會周 強流雕稿種復仇之 温味文兄為一綱打 也死神(第令以**與** 似土奥周君死状者 古兄保麒玉麒士先 話幸未散佚蔵皮待 原廊清而屬階終 類相類有冬青花 國史者有所取裁焉 持烈士以乞余一言義不獲辭逸排 比其事而緊以議論俾後之撰民國 士與周君在天之靈者爰以中華民 THE PIET OF WALLES **0 雄 0** 俎 ⑦ 一首日本青花 天下在1620秒随道有非小群伍的不亦不作者能频顺端连接层 (135) 記念なるのでは、音が 小姐帶回來第當下公主回府就把直答看了三遍。 神緒得五米奪目玲瓏怪巧然是可愛不覺 大景道。 數龍把包裹呈了上多次主打開一看見是一頭錦 難為你有事情好心思述四人打了一見小照把金 製成一甲能使槍砲不入劍戟輪傷伏求公士賣物 燕雀一般拿住公主問他做什麼金小姐道。 得公主前員實際衛馬以日夜經營把自己頭髮 就遜道迎了上去兩傍侍衛恐怕刺客把他,如應訊 好日日到街頭伺候恰好一日公主由宮裡 此來他 細寫了一封血膏說得悲慘動人當下和甲 起直告到都理又被余家随題院禁在燃促,頭至尾 何父母相概念死他兄長一心代父伸家從 府縣告 字當下咬破了指頭把如何被余冢買騙盗 攀駿如 好正可借献甲灣名字他作為他自己本是 知書職 個法子能避槍破的東西可投办主所好受 了幾月 然後用錦殿做頭子練了許多飛鳥港駅玲 瑞怪巧第十六回 整能襲拜 俠女報仇 頑石公 日夜功夫際性了二首青林織後造成他見 甲已造 恐你榜子短閒刀使勁或都不能進去他因 爲即得 大於主被人用難工學傷不敢出門他所以 想出這 **下宋**年自居然被他做成了一個錦袍和軟 とは、一番皆見陶南村物材の種属を上級而質之日宋に之後厥有義を上級而質之日宋に之後厥有義 **参男女現世教** 哉欽哉後生小子君德氏心向背在 流墨賢起挺莫非公等再耀其彩欽濟其徽奇邊北質問闻有此朱氏末 不記羊之年馬之月劈歴一撃山石 鳥臣夜牛一肇山竹裂父替有日君・人間な職萬年傷扇月蜀神飛続白 所藏事等機関不限穴形型順程非 影空五月茶山落徽雲不根霊気龍 青花花時一日風が振路が風雨清 一同包 甲一般,



富值。

呼一切者無數館總理管理中國主顧尤爲还意務使格外緣樂滿意顯止特此奉告 〒586 資有午實縣出售每本三十張另外特數於至專備華人特用午膳晚膳及會義之用數處備辦伙食及數數煮本旅館久豪中國土錦光館今於迎浦灘一面特備精會每日特設午餐及晚餐週來以應中國主顧

老 房 均 行 經 常 頭 理

